

総合計画改訂版重点施策実施状況一覧表

調査票2

①重点施策名	②施策	③該当する総合計画の基本施策番号	④記載箇所(重点的に実施する事業を記載)	⑤実施状況			⑥H30年度の主な事業内容(未着手の事業については、初年度に予定している事業)	⑦担当課	⑧備考
				未着手(予定年度)	実施中	完了			
重点施策1 活躍の場づくり (学びと遊びの まちへ)	地域課題を解決するための活動支援(市民活動・起業支援)	062 市民活動の支援(多様な主体の連携)	P69 現状・課題及び施策の展開方向2 協働事業の推進		○		市民活動支援センターを運営し、相談業務、人材育成事業(5/27, 6/10, 7/8, 7/21犬山未来塾【ファシリテーションのノウハウとノウハウ】)、市民活動交流フォーラム(3/3)を実施。市民活動団体の育成、中間支援案件のマッチングを行った。	地域安全課	
		063 コミュニティ活動の支援	P71 現状・課題及び施策の展開方向2 コミュニティ組織の育成		○		課題解決のモデル事業を実施。コミュニティ推進協議会のメンバーの他、民生委員、高齢者あんしん相談センタースタッフ等各回15名程度のワークショップを6回、また地元住民へのアンケートを1回、サロン参加者や高齢者へのヒアリングを数回実施し、課題の本質に迫り、それを解決する手段を考え実施した。企画実施後には反省会を開催し、継続的な課題解決に取り組めるよう今後を見据える。あわせて、他の地域やほかの課題でも課題解決に取り組めるよう、プロセスの抽出を行う。	地域安全課	
		112 中小事業者の育成	P89 施策の展開方向3 中小事業者の育成		○		商工会議所と連携した小規模事業者設備投資等補助金に加え、平成30年度より産業振興補助金を創設し、事業者への支援に取り組んでいる。	産業課	
	感性を育む学びの場づくり(授業改善・犬山の特性を活かした学びのまち実現)	352 義務教育の充実	P183 施策の展開方向1 特色ある学校づくり		○		それぞれの学校が特色ある学校づくりを目指して、地域に根ざした学校経営を行っている。さらにH31年度からは、読解力の向上を共通のテーマとして、特色ある犬山の教育の完成を全小中学校で目指す。	学校教育課	
		361 生涯学習機会の充実	P185 現状・課題、及び施策の展開方向2 次代を担う子どもや若者を対象とした事業の充実		○		「犬山市子ども大学」に農業の魅力を学び食育を考える「農業学部」を新設し、内容を充実した。また、NPO団体との連携による小学生向けプログラミング講座の実施や市民展における小中学生の作品展示、図書館における読書に親しむ事業や子ども俳句教室の開催等、次世代を担う子どもたちを対象とした事業を各種展開した。	文化スポーツ課	
		381 歴史・文化財の理解と意識の高揚	P196 施策の展開方向1 犬山の歴史と文化財を知る・学ぶ機会の提供		○		市民総合大学歴史文化学部により次の3学科を実施した。 【市民総合大学歴史文化学部】 古代史学科(全4回 118名)、明治カルチャー史学科(全4回 69名) 祭り文化学科(全3回 50名)	歴史まちづくり課	
		062 市民活動の支援(多様な主体の連携)	P69 施策の展開方向1 協働意識の向上と人材育成		○		集まったメンバーが立場を超えて自由に語り合い、対話から価値を生み出す創造的な語り場「フューチャーセッション@犬山」を計9回実施。地域課題やビジネスの視点もテーマに取り入れ、犬山内外から20代~40代の男女が毎回20名程度参加。	地域安全課	
	まちづくりの担い手育成(若者・女性・シニア)(市民活動支援)	062 市民活動の支援(多様な主体の連携)	P69 施策の展開方向1 協働意識の向上と人材育成		○		市内在住在勤在学中で20代~40代の人による企画提案事業を対象とした未来の人材活躍補助金を交付。地場野菜や音楽、アートなど、犬山での新しいライフスタイルを提案するイベント「犬山マルシェ」、写真を中心とした映像を基に、地域の歴史、記憶を記録にとどめ未来に発信する「町の記憶プロジェクト~みんなのアーカイブ~」の2事業を採択。	地域安全課	
	人材バンクの構築・運用と「人・モノ等」のマッチング支援(豊富な地域資源(人・モノ)の活用)	062 市民活動の支援(多様な主体の連携)	P69 施策の展開方向4 人材バンクの構築		○		犬山市地域資源バンク構築・運営事業を委託。現在公開情報として126件の人材情報を収集しており、情報発信、検索Webサイトを運営。活用案件としての把握は48件、内登録者の派遣が21件。ネットワーク事業として「生き方アップセミナー~女性の自立と子育てを応援する連続講座~」を全3回開催(5/21, 6/11, 7/2)。人材のマッチングイベントとしてフォーラムを3/3開催。	地域安全課 企画広報課	

総合計画改訂版重点施策実施状況一覧表

調査票2

①重点施策名	②施策	③該当する総合計画の基本施策番号	④記載箇所(重点的に実施する事業を記載)	⑤実施状況			⑥H30年度の主な事業内容(未着手の事業については、初年度に予定している事業)	⑦担当課	⑧備考
				未着手(予定年度)	実施中	完了			
重点施策2 産業の活性化 (商売繁盛のまちへ)	新たな交流拠点の形成(駅設置の可能性検討ほか公共交通の充実)	091 新たな交流拠点の形成	P82 基本施策9		○		「新たな都市拠点及び交流エリア基本構想」に関するマーケット・サウンディング調査を実施。道の駅における地域振興施設の可能性、市場性を確認することを趣旨として実施。当該地区での道の駅の可能性、市場性を前向きに評価する意見が多く、このことから民間活力を導入する方針での検討が可能と判断し、H31年度に基本計画を策定していく。	都市計画課 企画広報課 産業課 地域安全課	
	魅力ある商業地の整備	111 魅力ある商業地の整備	P87 目指す姿と目標指標、及び施策の展開方向1~3		○		犬山城下町まちづくり協会や犬山まちづくり株式会社などと連携し、地域の特色を活かしたイベントを実施し、活性化を促した。犬山市特産品協会と連携し、市外で犬山の特産品PRを行った。	産業課 企画広報課	
	地産地消を促進し犬山の特性を活かした施設誘致	104 地産地消の推進	P86 施策の展開方向2 地元農産物の消費促進		○		市内スーパーや飲食店で市内産農産物の取扱促進に努めた。	産業課	
	商業集積ラインの設定(買い物利便性向上)	111 魅力ある商業地の整備	P88 重点事業 幹線道路沿いの商業施設の誘導		○		商業事業者や不動産事業者と意見交換及び情報収集、情報提供を行い、進出を促した。	産業課 企画広報課	
	企業誘致(工業団地の整備、雇用環境の向上)	122 工業用地の確保と企業誘致	P93 施策の展開方向1 工業用地の確保及び重点事業工業用地造成事業		○		土地利用計画で定める産業集積誘導エリアにおいて、企業の進出が行われた。	産業課	
		141 雇用環境の向上	P99 施策の展開方向1 雇用の場の確保		○		企業の誘致、流出防止や設備投資の支援等により、企業の基盤強化支援を行った。		
	時代に合った農業の展開と活性化(農の新たな担い手育成)	102 農業経営の確立	P84 施策の展開方向2 農業の担い手育成		○		平成30年度に農業担い手施設整備等支援補助金制度を創設し、農業機械等の導入により生産性向上を図る農業者に対し補助を実施。また、担い手のさらなる農地集積・集約化を図るため、推進会議を開催。	産業課	
		104 地産地消の推進	P86 施策の展開方向1 農業生産者の育成		○		新規就農者が野菜を栽培しており、農業次世代人材投資資金による経営安定支援を行っている。また、子ども大学では希望する小学生向けの農業講座を開設し、農業を身近に感じてもらい、野菜の栽培に関する技術と知識を身につける体験の場を提供した。	産業課	
	インバウンドに対応する体制の充実(観光施設間の連携等)	131 観光資源の整備・充実	P94 施策の展開方向3 観光地を結ぶ交通体系の整備		○		平成30年度は名鉄犬山ホテルと博物館明治村及び野外民族博物館リトルワールドを結ぶ直行バスの運行を実施。城下町と周辺のテーマパークを結ぶ二次交通のネットワークを強化した。また、平成31年3月から観光タクシーの営業を開始。定額で観光名所を巡ることができる仕組みを整え、観光客の利便性向上を図っている。また、観光地の渋滞緩和については、キャッスルパーキングの自動ゲート化工事を平成30年度に実施。9月1日から運用を開始し車での来訪者に対する利便性の向上に努めている。	観光交流課	
		132 観光宣伝・情報発信の充実	P97 施策の展開方向1 観光宣伝・情報発信の充実		○		犬山観光に関する情報は犬山市観光協会にホームページの維持管理を委託しており、イベント情報の発信など、随時最新の情報を更新できている。また、駐車場の空き状況なども提供し、観光客の利便性向上に努めている。インバウンド需要の取組みについては、台湾をはじめとして海外誘客活動や海外旅行会社を招請するなどの誘致活動を観光協会を中心に実施し、拡充を図っている。	観光交流課	

総合計画改訂版重点施策実施状況一覧表

調査票2

①重点施策名	②施策	③該当する総合計画の基本施策番号	④記載箇所(重点的に実施する事業を記載)	⑤実施状況			⑥H30年度の主な事業内容(未着手の事業については、初年度に予定している事業)	⑦担当課	⑧備考
				未着手(予定年度)	実施中	完了			
重点施策3 定住促進 (多様な暮らしができるまちへ) (多様な暮らしができるまちへ)	既存ストックの活用(空き家、空き地、遊休農地、公共施設等)	281 眠る資源の活用(既存ストック活用)	P158 基本施策28		○		全市的に活用財産の洗い出しをし、市有財産に関するサウンディング型市場性調査を実施。各財産の今後のあり方について検討。次年度以降も継続して実施予定	経営改善課	
					○		空き家バンクの新設や空き家予備群に対するセミナーの開催などを行い、空き家を資産と考えるような取り組みを進め、中古住宅の活性化に取り組んでいる。	都市計画課	
					○		市所有農地を子ども大学の実習田として活用できるよう検討した。	産業課	
					○		総務省のモデル事業であるシェアリングエコノミー活用推進事業として、城下町周縁部及び丸山地区における駐車場シェアの普及に向けた戸別訪問(48件)や各種説明会等を実施し、5件の駐車場登録に至った(H31.2.25時点)。次年度以降も駐車場シェアの認知度向上や普及促進に向けた活動を実施予定	企画広報課	
				○			2019年度から地域資源バンクの構築の中で場所に関する情報収集を行う予定。	地域安全課	
	地域ごとの交流の場の形成(交流の場と機会づくり)	063 コミュニティ活動の支援	P72 施策の展開方向3 地域の交流の場や機会形成の促進		○		コミュニティ推進地区助成金を交付し、地域での交流の場づくりを支援。	地域安全課	
	交通体系の充実(バス等公共交通の利便性向上)	312 バスの利便性の向上	P170 施策の展開方向3 公共交通ネットワークの形成、及び重点事業		○		町内会及び利用者アンケート等市民の意見や要望を基にニーズを把握し、費用対効果や運行形態の検証等を実施した。地域公共交通会議での協議を経て、平成30年12月からバス5台8路線の曜日運行から、8台8路線の平日毎日運行へ再編を行い、利便性の向上を図った。	地域安全課	
	子育て支援の充実(子どもを持つ喜びを)	173 子どもを育む環境整備	P113 施策の展開方向1~3		○		1. 東児童センターの改修を行い、子育て支援センター、ファミリー・サポート・センターの機能を持たせることで、犬山市における子育て支援拠点施設とした。また、駐車場の拡大をはかり子育て講座や子育てに関わる地域交流講座等も開催可能となった。 2. 中学生の乳幼児との体験交流事業を市内全中学校にて実施した。 3. 養育不安のある家庭には適切に対応し、児童虐待の予防及び早期発見に努めた。	子ども未来課	
	地域で支え合うまちづくり(高齢者・障害者福祉の充実)	163 地域包括ケア体制の確立	P107 施策の展開方向1 保健・医療・福祉サービスの連携の充実		○		平成29年度から地域包括支援センター業務を社会福祉法人、医療法人等へ委託し、市内5箇所に「高齢者あんしん相談センター」を設置。地域包括ケアシステム構築に向け、認知症施策、生活支援体制整備事業、在宅医療介護連携事業等を実施。	長寿社会課	
		182 障害者福祉サービスの充実	P117 施策の展開方向1 障害者福祉サービスの充実		○		H30年度より障害者基幹相談支援センターを設置し、障害者の身近な相談支援機関として、また、地域の関係機関やサービス提供事業所と連携し、障害者が安心して地域で生活することができるよう、障害福祉サービスの利用に必要な支援を行っている。	福祉課	
多様な住まい方の実現(町屋、優良田園住宅等)	321 暮らしの場・住まいの場の提供	P172/173 施策の展開方向1 空き家の流通促進、2市街化調整区域における住宅供給、3歴史的建造物の保存・活用		○		空き家バンクや住宅相談において宅建協会と連携することで、中古住宅の流通促進を図っている。栗栖・今井地区においては優良田園住宅制度を導入することで新規居住者に対して新たな住宅の提供を可能とした。	都市計画課		
				○		犬山市伝統的建造物保存委員会の指導の下、歴史的建造物2件(松山家・玉井家)の保存修理を支援した。	歴史まちづくり課		
効果的な情報発信(見せ方伝え方の工夫)	043 シティプロモーション	P63 施策043 シティプロモーション		○		平成30年が成年であることを機に、平成29年度に引き続き成年記念事業を実施。市民等が中心となって、成年記念事業(冠事業)が開催された。	企画広報課		

総合計画改訂版重点施策実施状況一覧表

調査票2

①重点施策名	②施策	③該当する総合計画の基本施策番号	④記載箇所 (重点的に実施する事業を記載)	⑤実施状況			⑥H30年度の主な事業内容 (未着手の事業については、初年度に予定している事業)	⑦担当課	⑧備考
				未着手 (予定年度)	実施中	完了			
重点施策3 定住促進 (多様な暮らしができるまちへ) (多様な暮らしができるまちへ)	災害に強いまちづくり(防災力の向上)	221 災害に強いまちづくり	P132 現状と課題、施策の展開方向1 都市施設の耐震化推進		○		H30年度は富岡荒井線において、楽田番前地内の道路改良工事(未供用)を実施した。(L=115m)	整備課	
					○		市内の主要な水道施設から、非常用発電機設置等の耐震化以外の災害対策も考慮して耐震化を行う施設を選定。	水道課	
					○		下水道管きよ重要路線の耐震化 L=401m マンホールトイレ設置 N=5基	下水道課	
	222 防災体制の充実	P133 施策の展開方向1 防災関係機関との連携した防災力の向上、2災害予防体制の充実		○		災害時の協定締結(1件)や、近隣自治体、民間企業との意見交換・連携確認を実施した。また、地域住民や多様な団体との協働により実践的な防災訓練を実施した。	地域安全課		
	223 防災意識の高揚と防災体制の育成強化	P135 現状・課題及び施策の展開方向2 自主防災組織の育成		○		自主防災組織の立ち上げ支援、資機材買い替え補助を実施するとともに、地域の防災訓練において出前講座を行ったり、訓練内容の立案補助を行った。	地域安全課		
財政運営の適正化	051 財政運営の適正化	P64 施策の展開方向1 計画的かつ効率的な財政運営に記載		○		財政運営については、市債や基金などの財源と、実施計画と連動した事業選択とのバランスに考慮した予算編成を実施した。また、財政状況の公表については、近年の取り組み(市民向け冊子の作成)を続けるほか、情報発信の時期についても改善を行った。	経営改善課		